

- 世界精神保健調査では、我が国の精神障害へ罹患する生涯有病率が22.9%であり、精神疾患は誰でも罹患しうることが報告されている。
- 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る検討会」においても、地域住民への普及啓発を進めるにあたり、メンタルヘルス・ファーストエイドへの賛同が既に得られている。

※ メンタルヘルス・ファーストエイド（MHFA）とは、地域の中で、メンタルヘルスの問題をかかえる人に対し、住民による支援や専門家への相談につなげる取り組み。

板橋区の心のサポーター養成研修について

自殺対策研修との連動制

心のサポーター養成研修

- ・小学生からお年寄りまでを対象としており、内容が簡潔
- ・身近の悩みを抱えている人に対応

集客型

ゲートキーパー研修

- ・心のサポーターよりも自殺対策に特化している研修
- ・希死念慮を抱えている人に対応する

講師派遣型

出張ゲートキーパー研修

- ・左記2つの研修よりも専門的な研修を行うことができる
- ・申込者の希望の日時で行うことができる。
- ・申込者の要望によって、内容を変更することができる。

右に行くほど専門性が高くなる

今後の方向性

国の目標値

令和6年度から
5年で38万人

令和6年度から
10年で100万人

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和10年度	令和15年度
共催大学		1大学	1大学	1大学	区内6大学共催実現を目指す！ (令和8年度～2大学共催実施予定)	
養成者数 (累積値)	63人	147人	264人	目標値 ※ 420人	目標値 ※ 1,700人	目標値 ※ 4,600人

心のサポーターを養成することで、メンタルヘルスの理解を深め、地域で支え合いの実現を目指す！